

内案

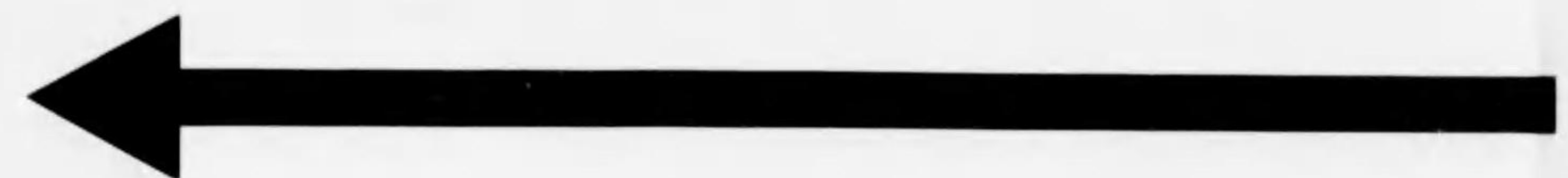
覽遊洲滿

特276
657

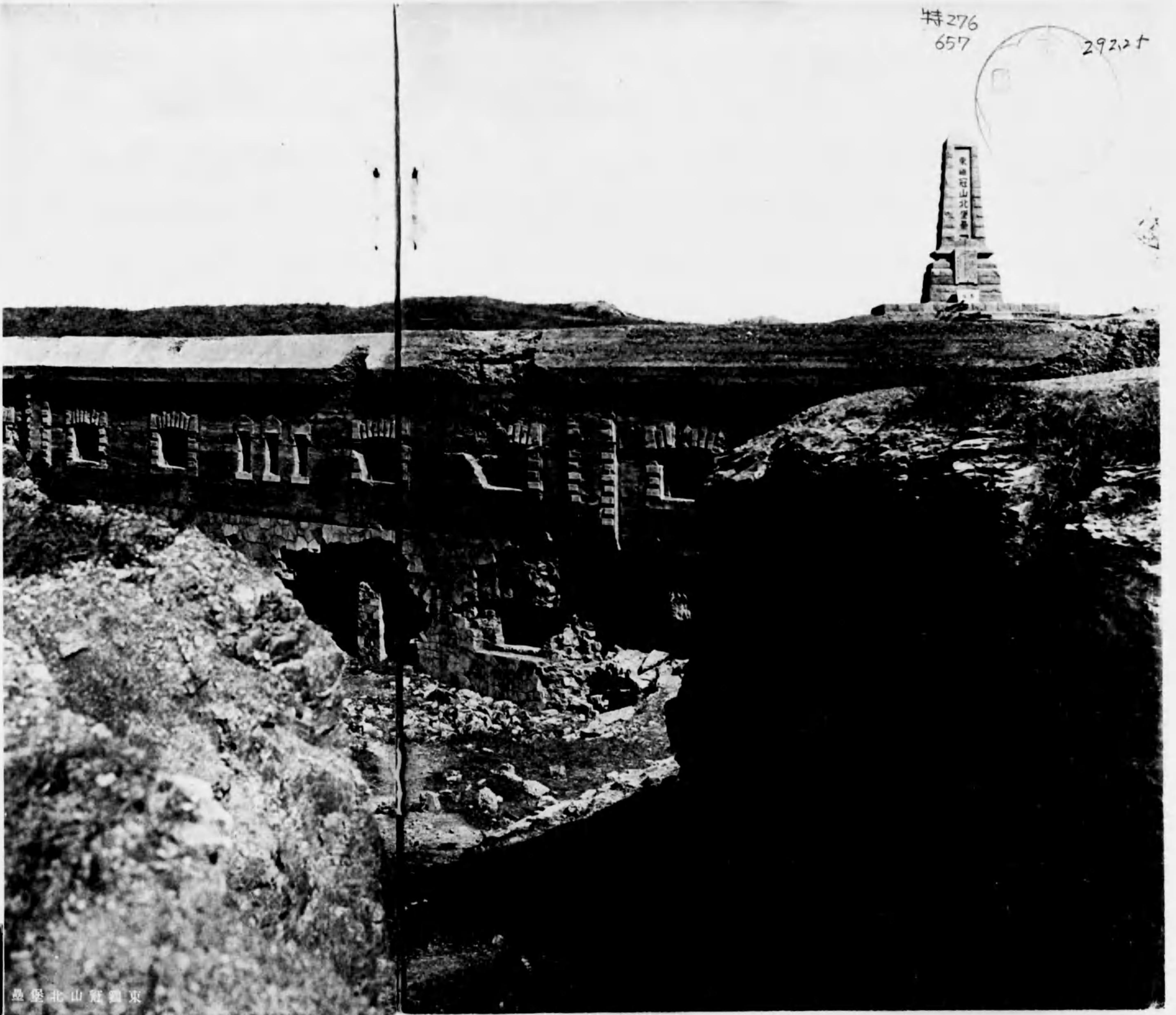


5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

始



特276
657
2922+



東鶴岡山北堡壘

聖地も廻る 旅順戦跡バス

難攻不落と謂はれた旅順要塞。我二十八榴榴砲の雨と忠勇なる將兵の血を浴びた旅順要塞。それが今尙當時のまま、礎されてあるのです。それに又旅順は若し自由に開放したら遼東半島のモナコになるだらうと謂はれる程風光明媚の地であります。

【旅順戦跡バスの案内】

- 一、案内 人—大連都市交通會社専屬男子案内人
- 一、運賃 大—一回五十錢 小—一回二十五錢
- 一、乗車時間 約一時間

一、發車時刻—午前七時三十分 午後一時三十分

一、運賃—大連—旅順市乃木町發車所—約四十錢

一、乗車時間—約一時間

一、應需車輛數—二十五輛

【大連、旅順連絡バス】

- 一、案内 人—女子案内人
- 一、運賃 大—一回五十錢 小—一回二十五錢
- 一、乗車時間 約一時間





白玉山



記念館



前山

【貸切運賃】
 一、大連旅順間 二十時間以内 一、五九人乗 一、七〇
 二、大連旅順間 二十時間以上 一、五九人乗 一、七〇
 三、大連旅順間 二十時間以上 一、五九人乗 一、七〇
 四、大連旅順間 二十時間以上 一、五九人乗 一、七〇

【巡拜箇所概況】
白玉山 下車説明
 旅順市の中央に聳え、新市街と舊市街の中間にあつてあります。自動車
 で登れば次第に眼界が展げ一昨千里の言葉の如く各砲臺及渤海の波濤を眺
 望し得られます。山頂には表忠塔が聳え、後方には納骨祠があり、旅順攻
 圍戦に護國の鬼と化した陸海勇士二萬三千餘名の遺骨を祀つてあります。
東鶏冠山北堡壘 下車説明
 旅順本防線陣地中の模範築城であります。我が第十一師團の諸隊は明治
 三十七年八月十九日より第一回總攻撃を開始し、敵兵の機關銃と砲火に備

まされ突激隊は全滅しました。そこで地下坑道を掘り敵の陣地を爆破する
 計畫を樹て十二月十八日午後二時十五分大爆破を執行し、猛烈な突撃を敢
 行して其夜遂に占領したのであります。

望臺
 東鶏冠山北堡壘を後にして戦跡道路に出れば背後に二門の大砲が見えま
 す。それが望臺で旅順背面の最高峰です。

松樹山堡壘
 山頂に近い道路を曲折して行けば右方に見える永久堡壘で、この攻撃は
 東鶏冠山北堡壘の例にならつて三條の坑道を穿つて大爆破を十二月三十
 一日に占領した堡壘です。

有名な自衛隊の突入したの左側に見える松樹山補備砲台であります。
水師營會見所 下車説明
 爾靈山が我軍の手中に落ち東北の諸軍が又敵の手中を離れた時つまり三
 十八年一月一日午後四時頃我第一線に露軍の軍使が参りました。翌一月二
 日開城規約が結ばれ、五日に記念すべき乃木、ステツセル兩將軍の會見が
 此の農家に於て行はれたのであります。

爾靈山 下車説明
 爾靈山は旅順攻圍戦中最大の犠牲を拂つた地であります。第一師團が三
 十七年九月十九日の第二回總攻撃の日より連続四晝夜の強襲の後、十一月
 二十七日新銳の第七師團を以つて漸く占領したのであります。我軍の戦死
 者二千二百十名、旅順攻圍戦の戦死者の約十分の一にあつてあります。

大連遊覽バス

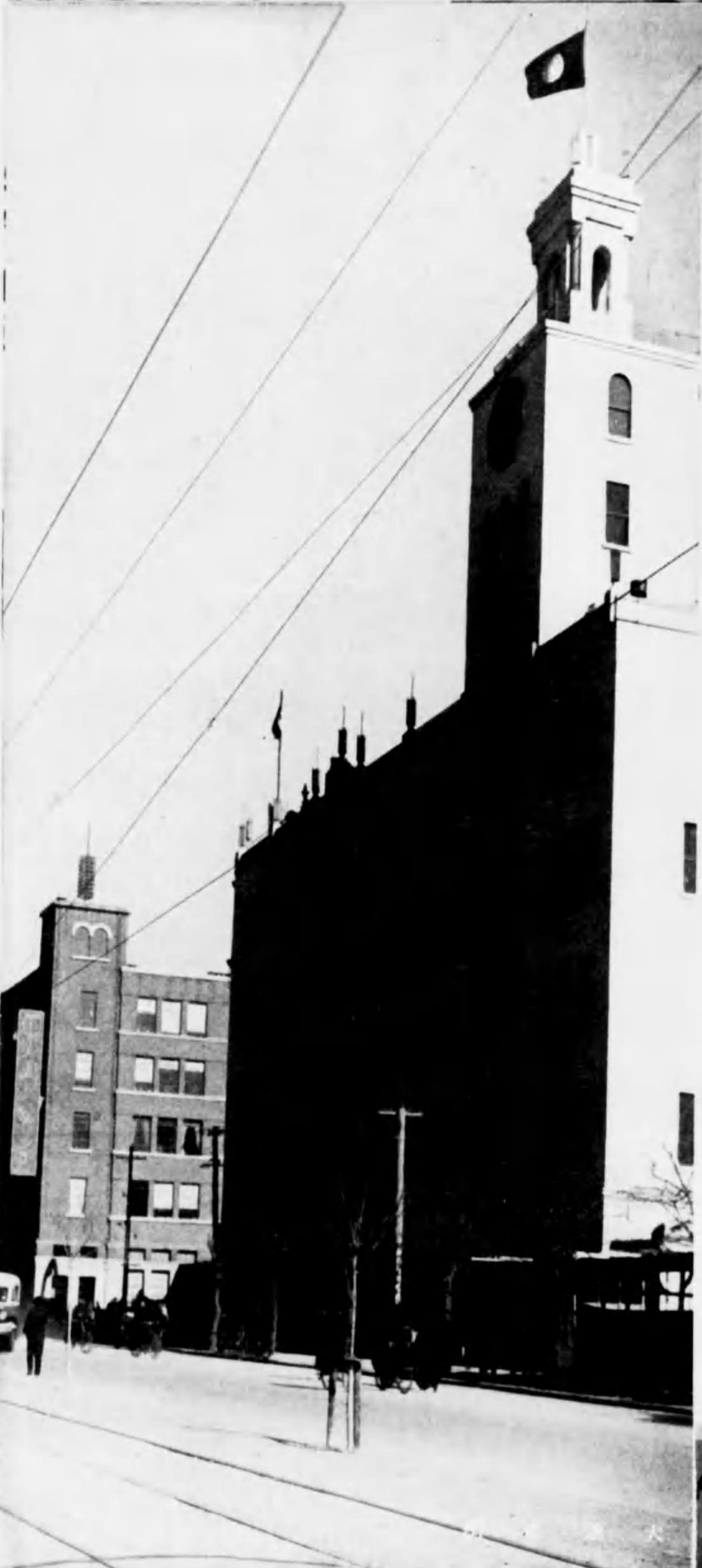
港大連は大滿洲國の表玄関であり僅三十年の歴史しか持たない未完成國
 際都市です。街には獨特な雰囲気の流れ、内地風ともヨーロッパ風ともつ
 かない人情つこさに充されておられます。それに對し滿支人の生活は渾布の
 落差のやうな激しいコントラストを見させてゐるのです。(日本人々口十六
 萬、滿支及諸外國人々口三十四萬五千、計五十萬五千)

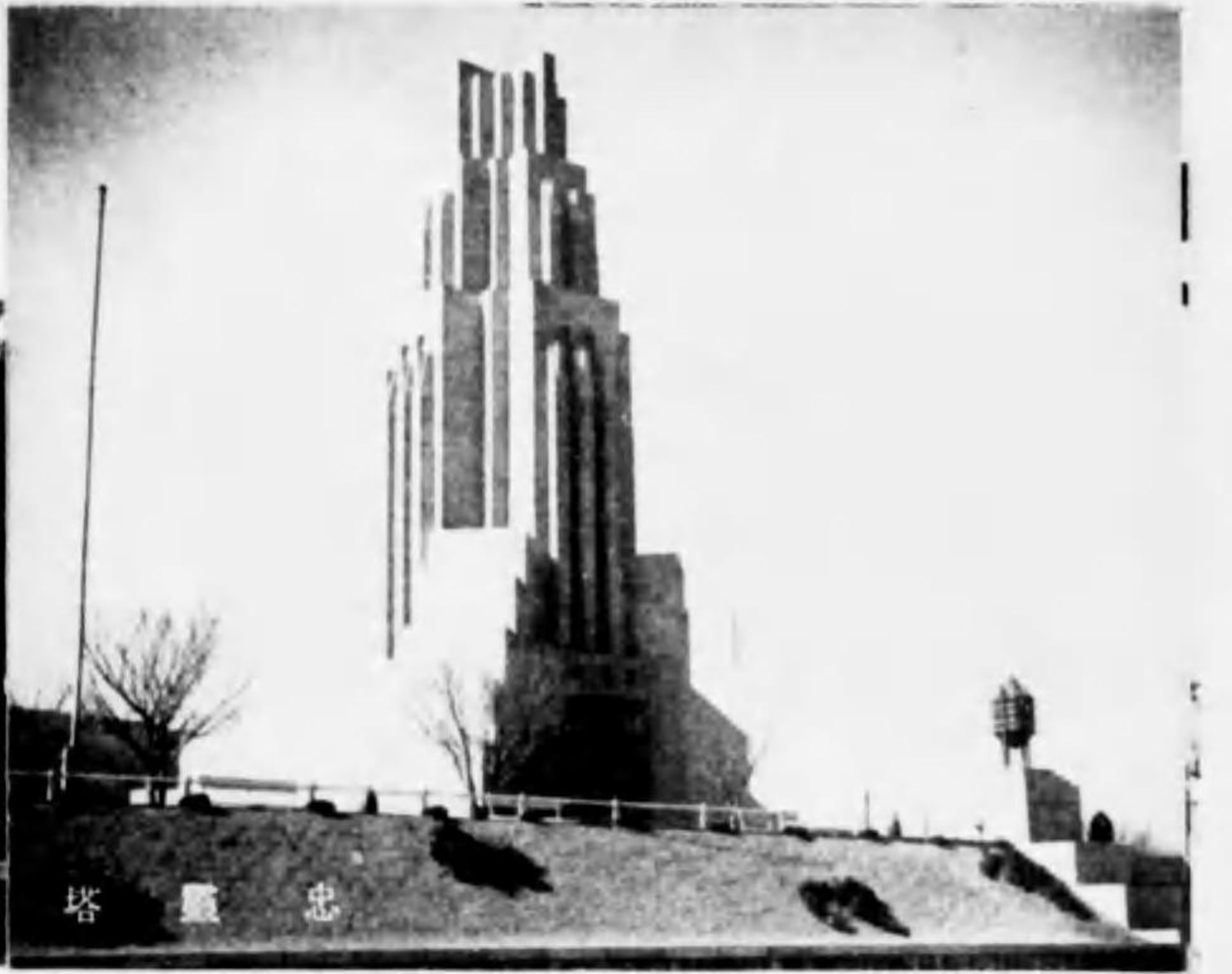
【大連遊覽バスの案内】
 一、案内 一人一女子案内人
 二、運賃 一回八十錢(小人九十錢)
 三、貸切 一人一輛(三十回(案内人附))
 四、團體 二十人以上を團體取扱とし
 一人一回六十錢(小人八十錢)

車種	時間	二時間	三時間	四時間	五時間	六時間	七時間	八時間	九時間	十時間
一七人乗	乗	100	150	200	250	300	350	400	450	500
二一人乗	乗	100	150	200	250	300	350	400	450	500
二五人乗	乗	100	150	200	250	300	350	400	450	500

午後十時より午前六時迄の間に貸切する貸切は普通料金の二倍
 待時間及目的地途上に於ける待時間は一時間毎に市内四回郊外五回を申受けま
 問を經過したる時は一時間と見做します

所行 一、三十九行(約十里)
所要時間 一、五時間半
發車時刻 午前九時半
發車場所 大連市常盤橋バス待合所
遊覽箇所 山の茶屋 忠靈塔 大連神社 大連砲臺 滿洲資源館 大連碑
使用車輛 一、大佛 二、星ヶ浦遊園 三、露天市場 四、油房 五、碧山莊 六、埠頭
應需車輛數 案内人附 二十五輛
大連市交通株式會社 自動車係 電話 二二二〇九〇
案内人 電話 二二二〇九〇
大連市交通株式會社 自動車係 電話 二二二〇九〇
案内人 電話 二二二〇九〇
大連市交通株式會社 自動車係 電話 二二二〇九〇
案内人 電話 二二二〇九〇





忠靈塔



大塔

【遊覽箇所概説】

其他—市内各旅館でも取扱ひます。

山の茶屋 下車説明
全市を眺望する事が出来ます。

忠靈塔 下車説明
日露戦役で蓋平以南の地に戦死された勇士の遺骨を御祀りしてあります。

大廣場 下車説明
政治経済の中心であり廣場を圍んで大連市役所、ヤマトホテル、英國領事館、大連警察署、朝鮮銀行、逓信局、横濱正金銀行、中國銀行、東洋拓殖會社等のビルディングが堂々と立並び、少し離れて赤旗飄るソビエト・ロシア領事館、星條旗はためく米國領事館があります。

滿洲資源館 下車説明
滿洲資源のアウトラインを握む爲是非訪れなければなりません
滿鐵の經營です。

大佛
日露戦後に護國の鬼となられた人々の遺骨が滿洲の山野に残されてゐたのを拾蒐め粉末としコンクリートを混入して大佛を造つたものであります。勿論露國軍人の遺骨も混入してあります。

星ヶ浦遊園 下車説明
春は櫻、夏は海水浴場で眺望絶佳、滿洲のオアシスト呼ばれてゐます。

露天市場 下車説明
滿洲人の生活を知る爲に最も便利な地域で日滿人の生活差から生じた奇現象です。尙滿人にとつては又とない民衆的娛樂地となつてゐます。

油房 下車説明
滿洲特産の大豆から豆油を採る工場です。

碧山莊 下車説明
苦力の宿舎で、見事な労働統制を行つてゐます。滿鐵の傍系會社です。

埠頭 下車説明
滿鐵經營の港灣で機械化せず苦力を多数使用してゐる點に特色があります。

昭和拾參年六月壹日
旅順要塞司令部許可濟



星ヶ浦



埠頭

ハルビン 遊覽バス

Харбин

「東洋のモスコウ」と謂はれ、「東洋のバリ」と謂はれたハルビン。
「裸踊」と「キヤパレー」の街ハルビン。

だが現在では之は一つの夜話に過ぎません。ハルビンは今、五十萬の人口を擁する北滿の心臟に變りつゝあるのです。

【遊覽バスの案内】

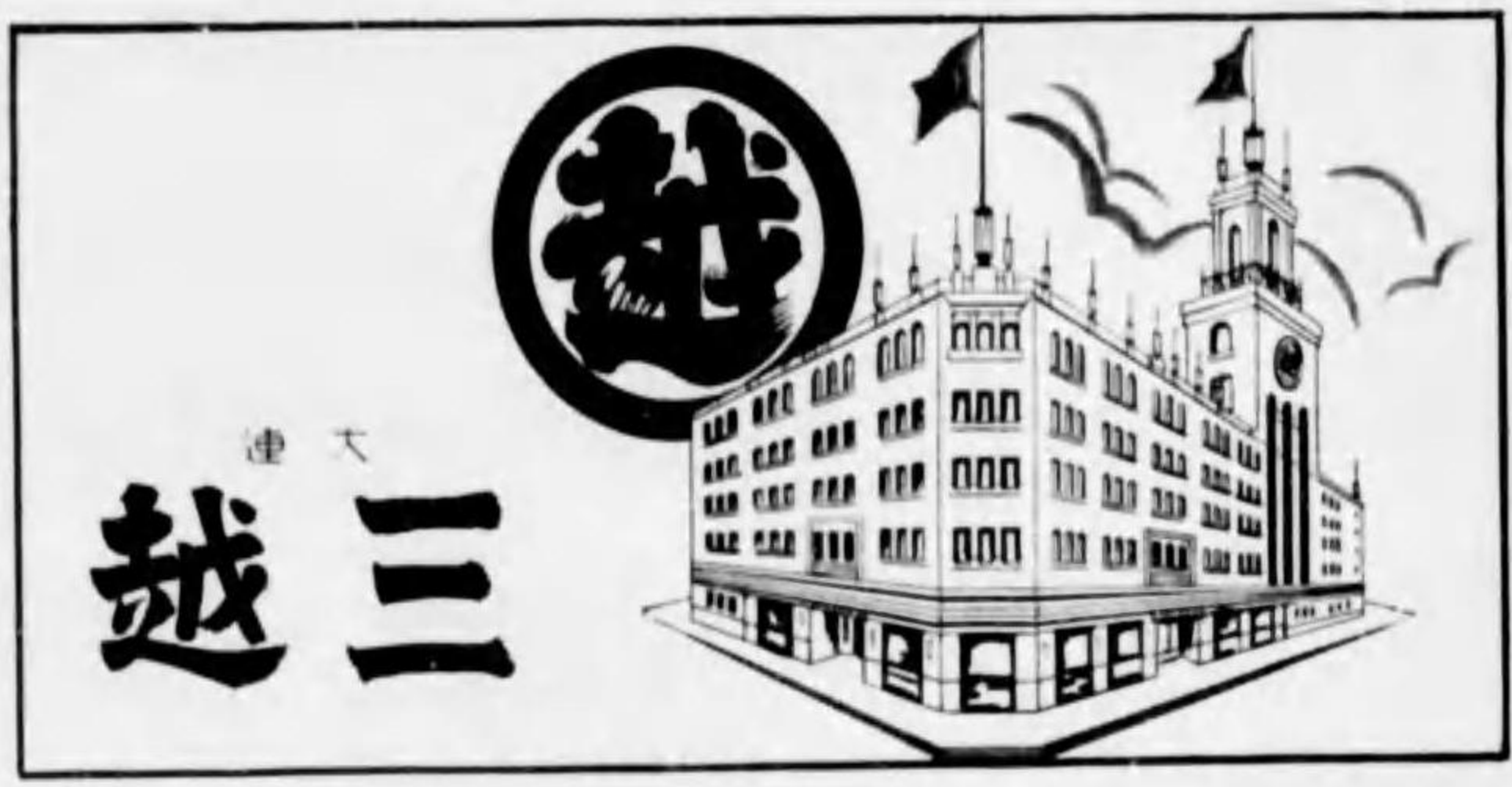
一、案内 人—白系ロシア娘(日本語で説明します)
二、運賃 大—一回五十錢
小—一回二十錢
軍人、學生、小人—一回



中央寺

時間	國幣
一 時 間 半	400
二 時 間 半	550
三 時 間 半	700
四 時 間 半	850
五 時 間 半	1000
六 時 間 半	1150
七 時 間 半	1300
八 時 間 半	1450
九 時 間 半	1600
十 時 間 半	1750
十一 時 間 半	1900
十二 時 間 半	2050
一 時 間	2200
二 時 間	2350
三 時 間	2500
四 時 間	2650
五 時 間	2800
六 時 間	2950
七 時 間	3100

一、所要時間—三時間半
二、發車時刻—午前九時
午後二時
三、發車場—キタイスカヤ街ツリスト・ビューロー前
四、遊覽箇所—中央寺院—忠靈塔—埠頭—横川志士の碑—孔子廟—ロシア人墓地—松花江
五、應需車數—三輛



越三

奉天遊覽バス

奉天!! それは、新興満洲の商工業、交通の中心地であり、又、三百有餘年の歴史を物語る史蹟であります。奉天遊覽バスは昭和九年五月、全滿最初の試みとして營業を始め、英靈眠れる忠靈塔、珍寶塔、傳説豊かな北陵、滿洲事變の北大營等々を肩日麗はしき大和撫子が、洗練されたサービスと朗らかな聲で、親切丁寧に案内して、觀光客より絶大な好評を博してゐるのであります。尙遊覽コースに、サービスに、説明に改善を加へ、本年は特に戦時體制下にある國民精神の發揚と、旅行者の熱望により、滿洲事變發祥地點柳條湖と、全滿に類なきラマの北塔をコースに加へて、異彩を放ち、且つ、理想的高級展望車數輛の増車と、内地よりガイドガールを招聘し、我社のモットーに從ひサービス第一主義に萬全を期してあります。

☆短コース
 自五月一日 至十月五日
 奉天驛前 午後一時發 午後四時歸着
 奉天驛前 午後四時發 午後七時歸着
 奉天驛前 午後七時發 午後十時歸着

☆長コース
 自四月三日 至十一月十三日
 奉天驛前 毎日午前九時發 午後三時歸着
 奉天驛前 毎日午後九時發 午後三時歸着

料 金
 大人(小學生以下) 試園五拾錢
 大人(小學生以下) 試園五拾錢
 奉天驛前—奉天驛前—忠靈塔—北陵—城内—古廟鐘房—奉天驛前
 奉天驛前—柳條湖—北大營—城内—古廟鐘房—奉天驛前

一、市外時間貸切料金表
 二、市内時間貸切料金表

車種	時間	一時間	二時間	三時間	四時間	五時間	六時間	七時間	八時間	九時間	十時間
大	大	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550
小	小	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275

市外時間貸切運賃 一日間(十時間以内) 三三〇圓
 市内時間貸切運賃 一日間(十時間以内) 三九〇圓
 奉天市外運賃は左記へ

奉天驛前 奉天交通株式會社子代田通營業所
 電話 三三六六一番
 三三六六二番
 三三六六三番
 三三六六四番
 三三六六五番
 三三六六六番
 三三六六七番
 三三六六八番
 三三六六九番
 三三六七〇番



奉天名所案内

奉天神社
 大正四年十一月大正天皇御即位大典を機として在奉邦人が一致協力して、その經營を進め、翌五年鎮座祭を行ひ、天照大神、明治大帝の御二柱を合祀してあります。

忠靈塔
 日露戦役の奉天會戦に際し、東は撫順馬群丹より西は黑溝臺遼河に亘る戦線二十數里の間、清流渾河を境に大激戦の末、世界戦史上に赫々たる偉勳を立て、開城に至るまでに忠死した三萬四千八百九拾の遺骨をはじめ、シベリヤ出兵、柳家屯事件、寛城子事件、滿洲事變の戦歿者の英靈を合祀してあります。

國立博物館
 熱河の阿片王とまで謳はれた舊東北軍閥の驍將、湯玉麟が巨萬の私財を投じて建築、完成直前に、彼の滿洲事變の突發となり逃亡したため、滿洲國政府の提唱により、康徳二年五月、國立博物館として再生開館したもので、その陳列品は遼、宋、金時代の名書畫や陶磁器、墓誌、哀朋文、契丹文字等の珍寶三千五百餘點が壯麗な白雲の三層樓内に收められてあります。

同善堂
 光緒七年當時天然痘が流行を極めた際、後に日清戦役の猛將、左實貴氏が私財數萬圓を以つて、天然痘豫防、育兒保護、貧民救済のため、開設したのに始まり、現在では滿洲唯一の慈善事業として堂内の收容人員も一、千名を超えてありますが、特筆すべきは救済門(拾兒)を受取る窓(濟良所)に逃避し來れる婦孺を收容する所(等)で、世界各國にも類なきものと謂はれてあります。

北營
 我軍僅かに五百の寡兵で、敵精銳一萬餘を算する北大營に迫りました。此の夜の兵舎は何と思つてか、舎内には其をよびよび電燈が輝々と輝き、敵狀は手に取る様に明瞭にみることが出来たので、敵機銃の猛射をものともせず突撃を敢行、彈丸忠告に日章旗を翻すことが出来、滿洲事變最初の激戦地、兵舎の屋根は飛び、壁は打抜かれ、今になほ残る銃痕は當時の激戦を眼のあたりを想はすものがあります。

城内
 不整形の外城約四里に圍まれて正方形の内城があります。昔一朝有事の際には内城の各門を閉じて外敵の侵入に備へたもので、城壁は高さ三丈五尺、幅一丈八尺もあり、城壁の上は野砲一門位は樂に通る程で、多量に銃眼はそのまゝ残つてゐるのであります。内城の面積は四十六萬五千坪あり、人の大店舖が軒を列ね、最も繁華な四平街には百貨店吉順絲房があります。

柳湖
 昭和六年九月十八日午後十時三十分、張學良麾下の王以哲軍は南滿鐵道奉天、文官屯間北大營附近の柳湖に於いて線路を爆破し、對日宣戰の舉に出ました。當夜虎石臺守備隊第二大隊第三中隊の河本中尉は六名の兵を引率、夜間警備演習中で、北大營西の鐵道線路に沿ひ、北より南へ奉天驛の方向に向つて前進して來ると、約二百米後方の此の地點に於て大爆音を聞き、事重重大とみて直ちに部下一名を虎石臺に急報せしめ、一方爆音作業者の支那兵を追撃射殺した。滿洲事變發祥の地として永久に記念されるべき地點であります。

北塔
 北塔は北門外の法輪寺の境内にあり、今より約三百年前の清朝勅建の廟で、奉天城を中心として東南西北に都城鎮護の護國寺塔として建てられた喇嘛塔の一つであります。此の北塔が有名なのは寺内に涅槃寂靜相を表現せる歡喜像(天地佛)を祀れるに由るもので、幾多の傳説を秘めて薄暗の中に存置されてあります。



門 城

新都 新京遊覽バス

國都 新京

碧空を截つて掃比する高樓の偉觀、アスファルト、タールマカダムに舗装されて縦横に展開する街衢の豪壯を見る時、誰が果して之が茫洋たる内蒙の一旗地、長春、だつたのだと考へることが出来ませうか。七年以前新興國都と賛められて晴野の一角に呱呱の聲を擧げた「新京」は恰かも決河奔流の勢を以て其の建設に奮進し、康徳四年九月早くも第一期五年計畫を完成したのです。而かも止まるところを知らぬ其の發展は、人口二百萬の都市を目標とし劃明的大建設に向つて一刻の弛みもなく躍進を續けてゐます。日に新しく日に進む國都新京の颯爽たる姿こそは、大滿洲帝國建設の核心的表象であり、人類創造史に驚異的頁を加へるものと謂ふ可きです。巨大なる高層建築物、田々たる三線式道路、完備せる交通機關凡ゆる近代的都市施設をもつ新京は、一方又、古都長春の名残を幾多止めてゐます。近代と古代、新しきものと、古きものとの美を渾然調和の裡に包含してゐるのが五族協和の國都に適はしい魅力でありませう。

新京にお着きになりましたら、先づ遊覽バスの御豫約を！

躍進國都の全貌を最も短時間で面かも限なく御見物なさいますには國都遊覽バスを御利用されるのが一番御便利で御座います。新京驛にお着きになつて直ちに驛前のツーリスト・ビュローにお越しになつても、或はお着きになつた旅館に御申込になられても遊覽バスの乗車券は直ちに御豫約願へることになつてゐます。

説明の懇切——乗心地の輕快——料金の低廉

この三つが國都遊覽バスの誇る特徴で御座います。



國務院

定期遊覽バス

- 一、料 金——大人御一名一圓五十錢 小人御一名七十五錢
- 二、發着場 所——新京驛前 午前九時出發 午後零時半歸着 三時間半
- 三、コース—— 新京驛前——新京神社——軍司令部——忠靈塔——寬城子戰跡——俄國務院——宮廷府——大馬路——南滿鐵路——南湖——安民廣場——國務院——興安大路——大同大街——大同廣場——中井百貨店——新發路——寶山百貨店——八馬通——驛前歸着
- 四、婦人案内人——ガイドがフルの周知懇切なる説明振りは既に定評が御座います。躍進國都を語つて十二分である許りでなく特に南湖、寬城子戰跡の悲壯極まる戰況の說明は皆様が滿洲事變を憶はれるのに缺くことの出来ぬ資料なるもの、一度は是非御試聽願ひます。
- 五、記念攝影——忠靈塔前と新京觀光紀念寫眞を撮影致します。御歸着途に出來上り御希望の方に實費でも頒ち致します。
- 六、記念繪葉書——國都遊覽バス御乗車記念として本社特權の記念繪葉書を贈呈致します。

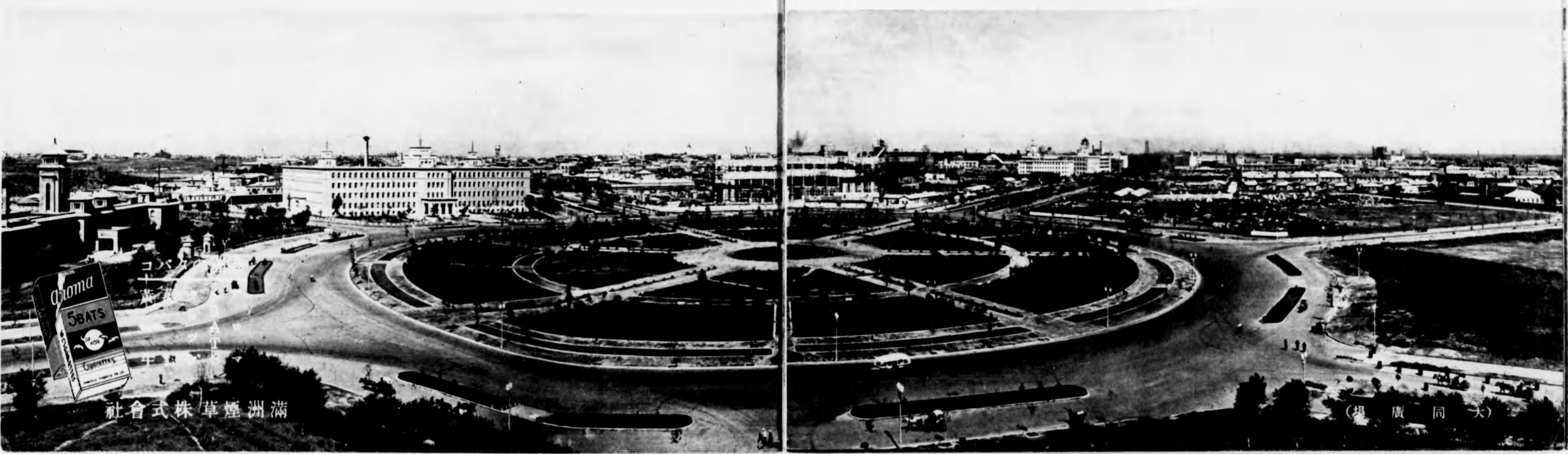
團體貸切遊覽バス

- 團體觀光者の御便宜の爲めの通り團體貸切遊覽バスの御申込に應じます。
- 一、料 金
- | | |
|---------------|-----|
| 普通團體 大型(二十五人) | 十八圓 |
| 普通團體(二十人) | 十五圓 |
| 軍人學生 大型(二十五人) | 十六圓 |
| 普通團體(二十人) | 十四圓 |
- 但し案内人附は二圓増、軍人學生は三車以上、各車共一割引
- 一、コース 定期遊覽コース
- 一、申込所 新京バス案内係
- 電話 二二五六八三
二二五六八二



忠靈塔

大連市西通り百拾九番地
發行所 大連都市交通株式會社
大連市高砂町貳百參拾七番地
發行人 西澤嘉助

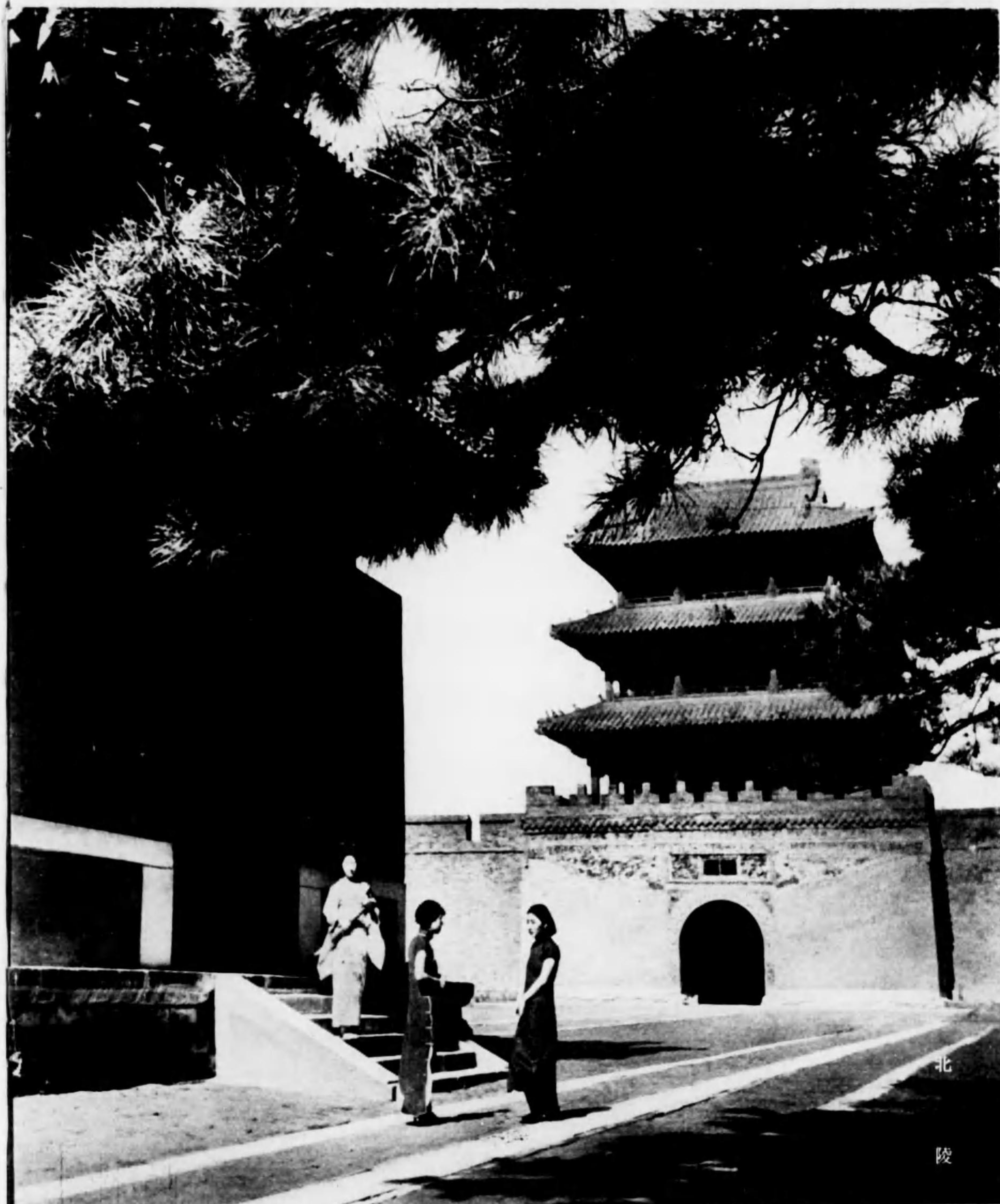


(大同廣場)



滿洲煙草株式會社

終



北 陵

順治八年(約三百年前)の築造で、清朝時代第二代太宗文皇帝の靈柩を葬つてあります。外苑周囲二里には老松が繁り、中央碑道の兩側には獅子、走獸、麒麟、馬、駱駝、象などの石獸が並んでゐます。又朱壁黃瓦の碑閣、聖德神功碑、石門、石階、戟門に刻まれた鮮やかな彩彫の一つ一つにも、當時の盛期が偲ばれます。